



PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11) Publication number: **06209739 A**(43) Date of publication of application: **02 . 08 . 94**

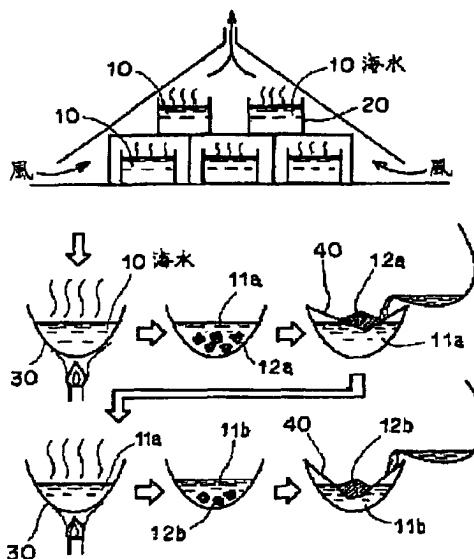
(51) Int. Cl

A23L 1/304
A23L 2/00(21) Application number: **04076119**(71) Applicant: **MAJIMA SHINPEI**(22) Date of filing: **26 . 02 . 92**(72) Inventor: **MAJIMA SHINPEI****(54) HEALTH PROMOTING LIQUID AND ITS PRODUCTION****(57) Abstract:**

PURPOSE: To produce a health promoting liquid for maintaining constitution hardly attacked by current diseases at a low cost.

CONSTITUTION: Sea water 10 is concentrated by boiling down. The concentrate 10a is cooled to remove a crystal 12a of sodium chloride. The remaining concentrate 11a is boiled down again and then cooled to remove the crystal 12b. Such steps are repeated until concentrate having amount of $\leq 1/1000$ based on the sea water 10. The resultant concentrate contains very small ingredients in sea water in high concentration and can supply very small ingredients in sea water which can not be taken from common salt produced by ion membrane exchange method.

COPYRIGHT: (C)1994,JPO&Japio



(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開平6-209739

(43)公開日 平成 6 年(1994) 8 月 2 日

(51)Int.Cl.⁵

A 2 3 L 1/304
2/00

識別記号

庁内整理番号

F I

技術表示箇所

F

審査請求 有 請求項の数 3 F D (全 3 頁)

(21)出願番号 特願平4-76119

(22)出願日 平成 4 年(1992) 2 月 26 日

(71)出願人 592056056

真島 真平

山口県防府市大字台道3547-1

(72)発明者 真島 真平

山口県防府市大字台道3547-1

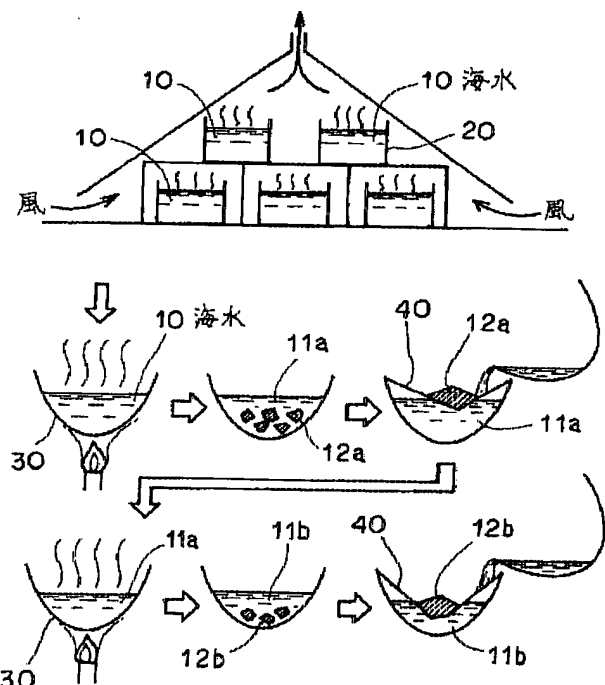
(74)代理人 弁理士 大西 孝治

(54)【発明の名称】 健康増進液及びその製造方法

(57)【要約】

【目的】 現代病にかかり難い体質を維持するための健康増進液を、低コストに製造する。

【構成】 海水 10 を煮詰めて濃縮する。濃縮液 10 a を冷やし、塩化ナトリウムの結晶 12 a を除去する。残った濃縮液 11 a を再び煮詰め、冷却後に結晶 12 b を除去する。これを、海水 10 の 1/1000 以下の濃縮液が得られるまで繰り返す。得られた濃縮液は、海水中の微量成分を高濃度に含み、イオン膜交換法で製造された食塩では摂取できない海水中の微量成分を補う。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 海水を煮詰めて濃縮し、その濃縮液を冷却後、濃縮液から結晶分を除去し、この繰り返しを、濃縮液の体積が元の海水の体積の1/1000以下になるまで続けて得られたことを特徴とする健康増進液。

【請求項2】 海水を煮詰めて濃縮し、その濃縮液を冷却後、濃縮液から結晶分を除去し、この繰り返しを、濃縮液の体積が元の海水の体積の1/1000以下になるまで続けることを特徴とする健康増進液の製造方法。

【請求項3】 1回目の濃縮を行う前に、海水の水分の一部を自然蒸発させることを特徴とする請求項2に記載の健康増進液の製造方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】本発明は、海水を原料とする健康増進液及びその製造方法に関する。

【0002】

【従来の技術】海水が食塩（塩化ナトリウム）の原料であることは、よく知られている。また、海水を濃縮して自然塩を抽出した後に残るニガリが、豆腐の凝固剤として使用されることも周知である。しかし、そのような海水の濃縮液が健康に良いと言う事実は、殆ど知られていないようである。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ところで、昭和45年頃を境に、病気の種類が大きく変化した。即ち、結核、赤痢等の細菌性疾患が化学療法の発達により激減し、代わって肥満、糖尿病、アレルギー性疾患、心筋梗塞等の所謂現代病が増え始めたのである。これらの現代病に、細菌性疾患に対する抗生物質のような特効薬が存在しないのは周知の通りである。

【0004】本発明の目的は、現代病を予防するための健康増進液及びその製造方法を提供することにある。

【0005】前述した現代病の増加は、一般には、農薬、食品添加物、生活様式および食生活の変化等が原因と言われている。しかし、本発明者は、現代病の増加が始まる時期が、製塩法の転換期に一致することに気付いた。即ち、現代病が増え始めた昭和45年頃を境に、製塩法が天日製塩法からイオン膜交換法に変化したのである。

【0006】天日製塩法にて製造された食塩には、少量ではあるが、海水中の微量成分、即ち、塩化ナトリウム以外の成分が含まれていた。しかし、イオン膜交換法にて製造された食塩には、この微量成分が全く含まれていない。

【0007】本発明者は、現代病が増え始めたのは、この海水中の微量成分が摂取されなくなったことが、一つの原因であると考えた。そこで、この微量成分が多く含まれると思われるニガリの、健康増進液としての有効性を調査した。現代病に有効との感触を得たが、多量に飲

まなければならぬことが難点であった。これは、海水の濃縮が未だ足りないためと考えられる。

【0008】そこで、海水を煮詰め、冷却後、濃縮液から結晶分を除去する工程を繰り返して、海水を元の体積の1/1000まで濃縮した。苦みの強い液体であるが、数滴を水に薄めて飲むだけで、疲労回復に効果があった。また、個人的な経験ではあるが、花粉症、夜尿症の患者に有効であった。

【0009】

【課題を解決するための手段】本発明にかかる健康増進液は、海水を煮詰めて濃縮し、その濃縮液を冷却後、濃縮液から結晶分を除去し、この繰り返しを、濃縮液の体積が元の海水の体積の1/1000以下になるまで続けて得られたことを特徴としている。

【0010】また、本発明に係る健康増進液の製造方法は、海水を煮詰めて濃縮し、その濃縮液を冷却後、濃縮液から結晶分を除去し、この繰り返しを、濃縮液の体積が元の海水の体積の1/1000以下になるまで続けることを特徴としている。

【作用】

【0011】本発明法により得られた海水濃縮液は、現代人が摂取する機会のない海水中の微量成分を高濃度を含み、現代病の予防に有効な健康増進液になる。

【0012】

【実施例】以下に本発明法の実施例を図面を参照して説明する。図1は本発明法の工程例を示す模式図である。

【0013】海水10を蓋のないタンク20に入れ、風通しの良い屋根の下に放置して水分を自然蒸発させる。これは、濃縮に要する燃料を節約するためであり、海水10を行きなり煮詰めてもよいことは言うまでもない。

【0014】自然蒸発によって海水10の水分をある程度減らすと、その海水10を鍋30に入れて煮詰め、更に水分を減らす。これを冷却すると、濃縮液11aから塩化ナトリウムが結晶12aとして分離する。結晶12aを濾紙40で除去して濃縮液11aのみを取り出す。

【0015】濃縮液11aを再び煮詰めて更に濃度を高くする。これを冷却し、結晶12bを除去して濃縮液11bを取り出す。この繰り返しを、元の海水10の量の1/1000以下の濃縮液が得られるまで続ける。海水もここまで濃縮されると、塩度計や比重計では濃度が測定できないので、その測定には例えば光電色濃度計を使う。

【0016】この方法によれば、海水10を1/1000あるいはそれ以下まで濃縮することもできる。

【0017】得られた濃縮液は、海水中の微量成分を多量に含む苦みの少し強い褐色の液体であり、現代病の予防に有効な健康増進液となる。製塩法がイオン膜交換法に切り替わってからは、海水中の微量成分を摂取する機会が失われ、現代病が増え始めた。得られた濃縮液を内服することにより海水中の微量成分が補われ、現代病に

かかり難い体質が維持される。

【0018】速効なものとしては、前述したように、数滴を水に薄めて飲むだけで、疲労回復に効果のあることを確認している。また、花粉症、夜尿症の患者に有効であった。

【0019】使用法は、原液のままでは飲みづらいので、一回あたり数滴を水、飲料、料理等に入れて摂取するのがよい。これを1日に1～3回ずつ毎日続けるとよい。飲み過ぎても、水溶性ゆえに中毒になることはない。

【0020】現代病の原因の一つが海水中の微量成分の不足にあることが、これで経験的に確認できたわけである。

* 【0021】

【発明の効果】以上に説明したとおり、本発明にかかる健康増進液及びその製造方法は、地球上に無尽蔵に存在する海水を使用して、糖尿病、アレルギー性疾患、心筋梗塞等の現代病の予防に有効な健康増進液を低コストに製造する効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明法の工程例を示す模式図である。

【符号の説明】

- 10 海水
11a, 11b 濃縮液
12a, 12b 結晶

*

【図1】

